

令和8年度

一般選抜後期日程入学試験問題

総合問題

注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、この冊子を開いてはいけません。
- 2 問題冊子（22 ページ）には、解答用紙3枚と下書き用紙1枚が挟み込んであります。試験開始の合図があったら、直ちに中を確認、印刷や枚数の不備などがあった場合、監督者に申し出なさい。
- 3 問題冊子の間に挟み込んである解答用紙を取り出し、すべての解答用紙の所定欄に受験番号を記入しなさい。
- 4 解答はすべて、解答用紙に横書きで記入しなさい。間違っても下書き用紙に記入しても、回収しません。
- 5 句読点は、一字と数えなさい。
- 6 試験室で配付された問題冊子及び下書き用紙は、退出時に持ち帰りなさい。

このページは白紙です。

このページは白紙です。

問題

課題文①・②・③・④を読んで、次の問いに答えなさい。

問1 課題文①下線部(ア)に「『ビギー』がはじめに想像していたよりずっと広い概念であった」とあるが、筆者の持つ「ビギー」の概念はどのように変化したか、80字以内で説明しなさい。

問2 課題文②下線部(イ)に「エゴと思い込みと仮想の愛とのほさまをふらふら迷いながら、それでも考えることをやめられない」とあるが、これはどういうことか、本文に即して120字以内で説明しなさい。

問3 課題文③下線部(ウ)「日仏語を巡る『わたし』のあつかいの違い」は、それぞれの言語における自己と他者の認識にどのような違いを生じさせるか。「対話」と「共話」という語を用いて120字以内で説明しなさい。

問4 課題文④下線部(エ)に「文化的実践においては、時にその社会で主導的だといわれている価値観とは矛盾するような逆説的な事態が生みだされている」とある。筆者はこのことを西欧と非西欧を対比しながらどのように説明しているか。「相互独立性」と「相互依存性」という語を用いて130字以内で説明しなさい。

問5 自分にとっての「あたりまえ」や「思い込み」を疑うことについて、課題文中の具体例に言及しながら、あなたの考えを450字以内で述べなさい。

課題文①

(次の文章は、南米に住む少数民族について述べたものである。)

著作権保護の観点により、公表できません。

著作権保護の観点により、公表できません。

著作権保護の観点により、公表できません。

著作権保護の観点により、公表できません。

ダニエル・L・エヴェレット著、屋代通子訳『ビダハン：「言語本能」を
超える文化と世界観』（みすず書房、2012年）による。一部改変。

注

*1ピダハン……ブラジル・アマゾンの少数民族。

*2ヤノマミ……ブラジルとベネズエラに居住する先住民族。

課題文②

著作権保護の観点により、公表できません。

著作権保護の観点により、公表できません。

著作権保護の観点により、公表できません。

著作権保護の観点により、公表できません。

著作権保護の観点により、公表できません。

河崎秋子「人間と動物を分かち壁の向こう側」
(['アンジャリ』第44号、2024年)による。一部改変。

課題文③

著作権保護の観点により、公表できません。

著作権保護の観点により、公表できません。

著作権保護の観点により、公表できません。

著作権保護の観点により、公表できません。

著作権保護の観点により、公表できません。

ドミニク・チェン『未来をつくる言葉 わかりあえなさをつなぐために』
(新潮文庫、2022年)による。一部改変。

課題文④

著作権保護の観点により、公表できません。

著作権保護の観点により、公表できません。

著作権保護の観点により、公表できません。

著作権保護の観点により、公表できません。

著作権保護の観点により、公表できません。

著作権保護の観点により、公表できません。

高田明「子どもと大人：私たちの来し方、行く先を見つめなおす」、

松村圭一郎他編著「文化人類学の思考法」

（世界思想社、2019年）による。一部改変。

